

2025 年度 駒沢女子大学
自己点検・評価シート

第4期(評価対象期間:2025 年 4 月～2026 年 3 月)

基準4「教育・学習」、基準5「学生の受け入れ」

内部質保証委員会

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2024 年度の共創文化学部の設置申請時にディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを策定し、入学案内等で示している。2025 年度については、DP・CP についての変更は行わず、大学 HP にて公開している。(2) 申請時にディプロマ・ポリシーと「カリキュラム」の整合性を検討した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025』 p79～80「アドミッション・ポリシー」、p29、35、41「カリキュラム」				
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】 駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及	A

			び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)を定め、それに基づいて教育課程を編成している。また、シラバスに「科目分類」を掲載し、科目の体系性をナンバリングにより明示している。配当年次については、履修ガイドの「科目一覧」に明記することで、学生に周知している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025』 p 25「1 教育上の目的」、p 35「9 科目一覧」				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	I C Tを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	B
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				

(1) 授業形態および授業方法はシラバスに明示しており、教務委員会によって内容の確認がなされている。また、期待される効果が得られているかについては、2年修了時および4年修了時に実施される「学修到達度の確認」によって検証を行い、その結果を内部質保証委員会に提出する計画である。 (2) 2025年度からICTを利用した授業科目（メディア授業科目）を開講している。なお、2025年度におけるICT利用の遠隔授業は補講（各期2回まで）に限られており、ICT利用が有効な授業科目か否かについての考慮には至っていない。 (3) 英語（教養科目・必修）において学力別のクラス編成を行っている。シラバスには授業外の学修時間およびフィードバックの方法等を明記しているほか、Google Classroom等を利用した授業外学修へのフィードバックなどを実施している。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「シラバス」【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml 】

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	A
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
（１）成績評価の方法を「教員ガイド」に示し、各科目の平均 GPA を 2.0 に近づけることを教務委員会で確認した上で、毎学期の GPA を各教員に通知している。 また、学生に対してはシラバスに「評価の基準と方法」の項目を設けて説明しているほか、授業評価アンケートによって「成績評価の基準は明確であったか」を問うている。 （２）期間を定めて成績評価に関する質問や異議申し立てを行うことができる旨を、「履修ガイド」に明示している（「成績評価に関する質問票」の配付等）。 （３）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、４年間の学修の流れを定め、適切な責任体制および手続きによって学位授与を行うこととしている。具体的には、４年修了時に学修到達度の確認を行い、学位授与方針に即した学修成果が得られているかを検証する計画である。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
大学ポータルサイト「教員ガイド（授業・試験・成績評価編）」 【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/form/index_kyotsu.htm 】
『履修ガイド 2025』 p 18「5.成績評価」 3) 5)
『履修ガイド 2025』 p 25～ 2「大学4年間の履修内容の流れ」
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】

点検・評価項目	評価の視点		自己評価
⑤ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
	(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
	(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。			
(1) アセスメント・ポリシーを定め、大学ウェブサイト（以下、HP）や「履修ガイド」等に明示している。 (2) ルーブリックを設定し、学修成果を評価するための指標を提示している。 (3) 学生自身による学修成果の振り返りを促すため、2年次および4年次に学修成果の確認を行う計画である。			
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。			
根拠資料名			
駒沢女子大学HP「アセスメント・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】			

点検・評価項目	評価の視点		自己評価
⑥ 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A

	向上に向けて取り組んでいるか。	(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	C
		(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	C
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) アセスメント・ポリシーに基づき、点検の基準・体制・方法を定め、入学直後・在学中・卒業時の各段階における方針を明示している。 (2) 学修成果の測定は現在のところ、授業科目に関連するものとどまっている。 (3) 学生による学修成果の振り返り(確認)は行っているが、今後は外部の視点による評価を加えることを検討している。 (4) 内部質保証の方針に則ってPDCAサイクルを定め、これを運用している。ただし、評価結果の集計・分析時期と教育課程の編成・検討時期との整合性を図ることが今後の課題となっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学HP「アセスメント・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
③および⑤	「2年終了時・4年終了時の学修到達度確認」を継続し、その報告書をもとに各学類・専攻で教育内容の見直しに役立てる計画である。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥ 評価の視点（２）	教育課程の自己点検において、学修到達度の確認を中心に行っているが、それ以外の資格取得状況等の要素は考慮されていない。
⑥ 評価の視点（３）	教育課程の自己点検において、外部の視点を取り入れる面が欠けている。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
⑥ 評価の視点（２）	資格取得状況や進路状況なども含めて、DPを達成しているかの総合的な確認となるディプロマ・サプリメントを導入し、教育課程の自己点検にフィードバックさせていくことを内部質保証委員会に提案し検討していく。
⑥ 評価の視点（３）	教育課程の自己点検の際に外部の視点での評価を取り入れることを現在検討中である。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、	自己評価
----------------------------	------

「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	B
--------------------------------------	---

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2025 年度の観光文化学部発足時にアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定し、到達目標をルーブリックで示している。学生に配布する履修ガイドに掲載する他、大学 HP にて公開している。 (2) 教育指針に関する検討委員会が作成した「カリキュラムマップ」にもディプロマ・ポリシーに対応したルーブリックを附載し、学科の学位にふさわしい学習成果となるよう適切に教育活動を行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025 観光文化学部』 p 47～63				
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】 駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。	A

			・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。	
〔現状〕評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)を定め、それに基づいて教育課程を編成している。また、カリキュラムツリーによって授業科目の学びの過程を明示している。シラバスに「科目分類」を掲載し、科目の体系性をナンバリングで示している。配当年次は履修ガイドの「科目一覧」に明記し、「科目分類」に配当年次がわかるようにしている。				
〔根拠資料〕上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025 観光文化学部』目次中の p iv および p 47～63				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	I C Tを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	A
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				

(1) 授業形態、授業方法はシラバスに明示しており、学科主任および教務委員によって内容の確認がなされている。また、期待される効果が得られているかについては、2年修了時・4年修了時に実施される「学修到達度の確認」によって確認をおこない、結果を内部質保証委員会に提出している。 (2) 2025年度におけるICT利用の遠隔授業は補講(各期2回まで)に限られているが、全15回の授業をオンデマンド方式で実施しているメディア科目を新設した。またほとんどすべての授業でGoogle Workplace for Educationの活用が行われており、授業運営のICT化を進めている。 (3) 英語(教養科目・必修)において学力別クラス編成を行っている。シラバスには授業外の学修時間およびフィードバックの方法等を明記。Google Classroom等を利用しての授業外学修へのフィードバックなどを実施している。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「シラバス」【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml 】
「2年終了時・4年終了時の学修到達度の確認報告書」内部質保証委員会提出資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	A
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
（１）成績評価の方法を「教員ガイド」に示し、各科目の平均GPAを2.0に近づけることを教務委員会で確認し、毎学期のGPAを各教員に通知している。また、学生にはシラバスに「評価の基準と方法」の項目を設けて説明し、授業評価アンケートによって成績評価の基準は明確であったかを学生に問うている。 （２）期間を定めて成績評価に関する質問や意義申し立てを行うことができることを「履修ガイド」で明示している（「成績評価に関する質問票」）。 （３）編入生の既修得単位については学務部長が確認し、教務委員会の承認を得て、適切に単位認定を行っている。 （４）（５）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、大学４年間の流れを定め、適切な責任体制・手続きによって学位授与を行っている。また、４年修了時に学修到達度の確認を行い、学位授与方針に即した学修成果を得ているかを確認している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
大学ポータルサイト「教員ガイド（授業・試験・成績評価編）」 【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/form/index_kyotsu.htm 】
『履修ガイド 2025 観光文化学部』 p 18～20「5.成績評価」3) 成績評価に関する質問および異議申し立て
教務委員会議事録（編入生の既修得単位一括認定に関して）
『履修ガイド 2025 観光文化学部』 p 47～63「大学 4 年間の流れ」
「4 年修了時の学修到達度の確認」内部質保証委員会提出資料

点検・評価項目	評価の視点		自己評価
⑤ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
	(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
	(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。			
(1) アセスメント・ポリシーを定め、履修ガイドによって明示している。 (2) ルーブリックを設定し、学修成果を評価する指標を明示している。 (3) 学生自身で学修成果を振り返るため、2 年次と 4 年次に学修成果の確認を行っている。			
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。			
根拠資料名			
「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー/カリキュラムマップ」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_01.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy			
観光文化学科カリキュラム 【 https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/d_tourism/curriculum.html 】			
「2 年終了時・4 年終了時の学修成果の確認」内部質保証委員会提出資料			

点検・評価項目	評価の視点		自己評価
⑥ 教育課程及びその内容、教育方法について定期的	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にして	A

に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。		いるか。	
	(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	B
	(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	C
	(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	B

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。
(1) アセスメント・ポリシーによって点検の基準・体制・方法を定め、入学直後・在学中・卒業次と段階を設定して方針を明示している。 (2) 学習成果の測定は現在、主に授業科目に関連を中心に行われており、資格試験の取得状況・進路状況等の情報活用は中心ではない。 (3) 学生による学修成果の確認は行っているが、外部の視点は現在のところ取り入れていない。 (4) 内部質保証の方針によってサイクルを定め、実施している。ただし、評価の結果をまとめる時期と教育課程の内容を検討する時期との調整が難しく、ただちに反映できる状況にはなっていない。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
駒沢女子大学HP「教育研究上の目的・方針」「アセスメント・ポリシー（学修成果の評価に関する方針）」 【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】
駒沢女子大学HP「内部質保証の方針」 【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html 】

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
③および⑤	「2年終了時・4年終了時の学修到達度確認」は、導入後現在まで安定的に点検評価を行い、その報告書をもとに学科で教育内容の見直しに役立っている。特に、2年次と4年次を比較することにより、効果的に達成された目標

	とそうでないものを明確化できる点がすぐれている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
「2年終了時・4年終了時の学修成果の確認」内部質保証委員会提出資料	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥ 評価の視点（2）	教育課程の自己点検において、学修到達度の確認を中心に行っている。それに対し、資格取得状況等の要素は十分に行っているとはいえない。
⑥ 評価の視点（3）	教育課程の自己点検において、外部の視点を取り入れる面が欠けている。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
⑥ 評価の視点（2）	資格取得状況や進路状況なども含めて、DPを達成しているかの総合的な確認となるディプロマ・サプリメントを導入し、教育課程の自己点検にフィードバックさせていくことを内部質保証委員会に提案し検討していく。
⑥ 評価の視点（3）	外部評価を受けることが望ましいと考えている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 2025年度より空間デザイン学部が発足し、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定し、到達目標をルーブリックで示している。学生には大学HPにて公開し、オリエンテーションや履修登録指導において周知を図った。 (2) 教育指針に関する検討委員会が作成した「カリキュラムマップ」にもディプロマ・ポリシーに対応したルーブリックを掲載し、学位にふさわしい学習成果となるよう適切に教育活動を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・ 授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・ 各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・ 学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・ 学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び	A

			単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)を定め、それに基づいて教育課程を編成している。また、カリキュラムツリーによって授業科目の学びの過程を明示し、シラバスには各授業科目の到達目標を示すとともに、「科目分類」を掲載して科目の体系性をナンバリングで示している。配当年次は履修ガイドの「科目一覧」に明記し、「科目分類」に配当年次がわかるようにしている。 _				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025』_iv「建学の精神・ポリシー」、p.64「教育上の目的・方針」「大学4年間の履修内容の流れ」「授業科目の分類」、p.69-75「科目一覧」				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	I C Tを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	B
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。
(1) 授業形態、授業方法はシラバスに明示しており、教務委員によって内容の確認がなされている。また、期待される効果が得られているかについては、1年修了時に「空間デザイン学科1年生アンケート」を行い、学科内のFD分科会であるブランディングFDを中心に結果の取りまとめ、「2025空間デザイン学科&住空間デザイン学類アンケート_まとめ」として各教員への周知が行われた。また、2年修了時・4年修了時に実施される「学修到達度の確認」によって確認を行い、内部質保証委員会への提出・点検を予定している。 (2) 空間デザイン学部のカリキュラムにはICT利用の科目設定(メディア科目)が設定されているが、2025年度開講科目には該当がなく、オリエンテーションでは周知したものの『履修ガイド2025』にも記載がなく告知が不十分であった。さらに現状では、ICT利用の遠隔授業は補講(各期2回まで)に限られており、ICT利用が有効か否かの検討は十分でないため、上記評価は「B」とした。 (3) 英語(教養科目・必修)において学力別クラス編成を行っている。シラバスには授業外の学修時間およびフィードバックの方法等を明記。Google Classroom等を利用した授業外学修へのフィードバックなどを実施している。また、学修支援センターの協力のもと、「空間デザイン入門I・II」(教養科目・必修)では、時間外学修として基礎学力のフォローアップ課題を実施している。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「シラバス」【https://infok.komajo.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml】 空間デザイン学科2025年度学科会資料 「2025空間デザイン学科&住空間デザイン学類アンケート_まとめ」
『履修ガイド 2025』_p.69-75「科目一覧」メディア科目
大学ポータルサイト「学修支援センター」【https://www.komajo.ac.jp/uni/tailormade/study_support.html】

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	—
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	—
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				

(1) 成績評価の方法を「教員ガイド」に示し、各科目の平均GPAを2.0に近づけることを教務委員会で確認し、毎学期のGPAを各教員に通知している。また、学生にはシラバスに「評価の基準と方法」の項目を設けて説明し、授業評価アンケートによって成績評価の基準は明確であったかを学生に問うている。 (2) 期間を定めて成績評価に関する質問や意義申し立てを行うことができることを「履修ガイド」で明示している（「成績評価に関する質問票」）。 (3) 空間デザイン学部においては現在編入生・転部生を受け入れていない。 (4) (5) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、大学4年間の流れを定め、適切な責任体制・手続きによって学位授与を行っている。また、4年修了時に学修到達度の確認を行い、学位授与方針に即した学修成果が得られているか確認することを予定している。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト_「教員ガイド（授業・試験・成績評価編）」 【https://infok.komajo.ac.jp/uprx/form/index_kyotsu.htm】 _
『履修ガイド2025』 p.18「5.成績評価」3) 成績評価に関する質問および異議申し立て _
『履修ガイド2025』 p.64「大学4年間の履修内容の流れ」
「4年修了時の学修到達度の確認」内部質保証委員会提出資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) アセスメント・ポリシーを定め、HPに明示している。 _ (2) ルーブリックを設定し、学修成果を評価する指標を明示し、HPの「ディプロマ・ポリシー」に掲載している。 (3) 学生自身で学修成果を振り返るため、大学全体において2年次と4年次に学修成果の確認を行う計画である。また学部独自の取り組みとしては「資格アンケート」「空間デザイン学科1年生アンケート」「空間デザイン学科実習系授業アンケート」等を行い、結果を教員で共有している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学HP「アセスメント・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A
		(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	B
		(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	B
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	B

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1) アセスメント・ポリシーによって点検の基準・体制・方法を定め、入学直後・在学中・卒業次と段階を設定して方針を明示している。 _
- (2) 学部独自の取り組みとして「資格アンケート」「空間デザイン学科1年生アンケート」「空間デザイン学科実習系授業アンケート」等を行い、結果を教員で共有し担任の学生指導等に活かしているが、学生ポートフォリオのように、学生が自己点検できる形式になっていない。
- (3) 学生の意見を積極的に求めるため、「空間デザイン学科1年生アンケート」「空間デザイン学科実習系授業アンケート」を行なっている。外部の視点としては、2年次以降専門科目に進むと産学連携課題や外部コンペの参加を通して学外の評価を得る機会があるが、1年次開講科目としてはまだ多く取り入れられていない。
- (4) 学科内のFD分科会であるブランディングFDを中心に、2025年度から実施しているカリキュラムの点検を行ない、教育方法の改善・向上に取り組んでいるが、1年目で十分な検討ができていない。また内部質保証の方針によってサイクルを定め、実施している。ただし、評価の結果をまとめる時期と教育課程の内容を検討する時期との調整が難しく、ただちに反映できる状況にはなっていない。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

駒沢女子大学HP「アセスメント・ポリシー」【<https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html>】

駒沢女子大学HP「内部質保証の方針」【<https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html>】

空間デザイン学科 2025 年度学科会資料 「2025 空間デザイン学科&住空間デザイン学類アンケート_まとめ」
「資格アンケート 2025」「ブランディングFD 議事録」

--

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
① および②	新しい学部として、達成すべき学習成果、教育・学習の基本的なあり方を示し、ふさわしい授業科目を体系的に編成でき、定員を上回る入学者を迎え、授業運営ができた。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥_評価の視点（2）	教育課程の自己点検において、学修到達度の確認のほか、資格取得状況等の調査も行なっているが、学生自身が確認点検できるものとして利用できていない。
⑥_評価の視点（3）	外部の視点を取り入れる面が、1－2年次においてまだ不十分である。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策

⑥_評価の視点（２）	資格取得状況や進路状況なども含めて、DP を達成しているかの総合的な確認となるディプロマ・サプリメントを導入し、教育課程の自己点検にフィードバックあせていくことを内部質保証委員会に提案し検討していく。
⑥_評価の視点（３）	教育課程の自己点検に外部の視点を取り入れることについては、すでに授業の一部として継続している産学連携やインターンシップなどを活用していきたい。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
駒沢女子大学HP「産学連携活動」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/contributions/collaboration.html 】	
駒沢女子大学HP「学外実習（インターンシップ）」 【 https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/d_spacedesign/license.html?id=headline_06 】	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 2025 年度から共創文化学部・観光文化学部・空間デザイン学部が発足した。人間総合学群の DP・AP は従来と変わらない。2025 年度からは学生に配布する履修ガイドへの掲載は行わず HP での掲示のみとしたが、HP の掲載箇所についての記述にミスがあったことが教務委員会で明らかになった。 (2) 前年度と変わらず、教育指針に関する検討委員会が作成した「カリキュラムマップ」にもディプロマ・ポリシーに対応したルーブリックを附載し、各学類（専攻）の学位にふさわしい学習成果となるよう適切に教育活動を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025』 iv 「建学の精神」「教育研究上の目的・方針」				
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】 駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・ 授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・ 各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・ 学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・ 学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び	A

			単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)を定め、それに基づいて教育課程を編成している。カリキュラムツリーによって授業科目の学びの過程を明示し、シラバスには各授業科目の到達目標をわかりやすく示すとともに「科目分類」を掲載して科目の体系性をナンバリングで示している。配当年次は履修ガイドの「科目一覧」に明記し、「科目分類」においても配当年次がわかるようにしている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2025』 iv「建学の精神」「教育研究上の目的・方針」				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	I C Tを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	B
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				

(1) 授業形態、授業方法はシラバスに明示しており、教務委員によって内容の確認がなされている。また、期待される効果が得られているかについては、2年修了時・4年修了時に実施される「学修到達度の確認」によって確認をおこない、結果を内部質保証委員会に提出している。 (2) 2025年度におけるICT利用の遠隔授業は補講(各期2回まで)に限られており、ICT利用が有効な授業科目か否かは考慮されていない。利用が限定的であるため、上記評価は「B」としたが、各科目においては適切に運用されている。なお、2025年度の共創文化・観光文化・空間デザイン各学部のカリキュラムから、ICT利用のメディア科目を行うこととなったが、1年次の科目には該当がなく、本格的には2026年度からとなる。 (3) 英語(教養科目・必修)において学力別クラス編成を行っている。シラバスには授業外の学修時間およびフィードバックの方法等を明記。グーグル Classroom 等を利用した授業外学修へのフィードバックなどを実施している。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「シラバス」【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml 】
「2年終了時・4年終了時の学修到達度の確認報告書」内部質保証委員会提出資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	A
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
（１）成績評価の方法を「教員ガイド」に示し、各科目の平均GPAを2.0に近づけることを教務委員会で確認し、毎学期のGPAを各教員に通知している。また、学生にはシラバスに「評価の基準と方法」の項目を設けて説明し、授業評価アンケートによって成績評価の基準は明確であったかを学生に問うている。 （２）期間を定めて成績評価に関する質問や意義申し立てを行うことができることを「履修ガイド」で明示している（「成績評価に関する質問票」）。 （３）編入生の既修得単位については学務部長が確認し、教務委員会の承認を得て、適切に単位認定を行っている。 （４）（５）学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、大学４年間の流れを定め、適切な責任体制・手続きによって学位授与を行っている。また、４年修了時に学修到達度の確認を行い、学位授与方針に即した学修成果を得ているかを確認している。				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「教員ガイド（授業・試験・成績評価編）」 【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/form/index_kyotsu.htm 】
『履修ガイド 2025』 p 18「5 成績評価」3）成績評価に関する質問および異議申し立て
教務委員会議事録（編入生の既修得単位一括認定に関して）
学群の「大学4年間の流れ」については『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 21～38

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) アセスメント・ポリシーを定め、HP に明示している（今年度から「履修ガイド」には掲載していない）。 (2) ルーブリックを設定し、学修成果を評価する指標を明示している。 (3) 学生自身で学修成果を振り返るため、2 年次と 4 年次に学修成果の確認を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 HP「アセスメント・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】				
ルーブリックは駒沢女子大学 HP「ディプロマ・ポリシー」に掲載 【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html?id=fc 】				
「2 年終了時・4 年終了時の学修成果の確認」内部質保証委員会提出資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にして	A

に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。		いるか。	
	(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	C
	(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	C
	(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	B

〔現状〕評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。
(1) アセスメント・ポリシーによって点検の基準・体制・方法を定め、入学直後・在学中・卒業次と段階を設定して方針を明示している。 (2) 学習成果の測定は現在のところ、授業科目に関連してのみ行われており、資格試験の取得状況・進路状況等の情報は活用していない。 (3) 学生による学修成果の確認は行っているが、外部の視点は現在のところ取り入れていない。 (4) 内部質保証の方針によってサイクルを定め、実施している。ただし、評価の結果をまとめる時期と教育課程の内容を検討する時期との調整が難しく、ただちに反映できる状況にはなっていない。
〔根拠資料〕上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
駒沢女子大学 HP「アセスメント・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html 】
駒沢女子大学 HP「内部質保証の方針」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html 】

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
③および⑤	「2年終了時・4年終了時の学修到達度確認」は、導入後現在まで安定的に点検評価を行い、その報告書をもとに各学類・専攻で教育内容の見直しに役立てている。特に、2年次と4年次を比較することにより、効果的に達成された目標とそうでないものを明確化できる点がすぐれている。今年度から

	は、4 年終了時の報告書を卒業判定の教授会資料として掲出し、あわせて卒業判定をおこなった。ただし、学科によっては回答率 100%ではなかった点が惜しまれる。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
「学修到達度の確認報告書（4 年修了時）」3 月 5 日教授会資料	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥ 評価の視点（2）	教育課程の自己点検において、学修到達度の確認を中心に行っているが、それ以外の資格取得状況等の要素は考慮されていない。学科ごとの特性もある。（昨年度から状況は変化していない）。
⑥ 評価の視点（3）	教育課程の自己点検において、外部の視点を取り入れる面が欠けている。（昨年度から状況は変化していない）。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
⑥ 評価の視点（2）	資格取得状況や進路状況なども含めて、DPを達成しているかの総合的な確認となるディプロマ・サプリメントを導入し、教育課程の自己点検にフィードバックさせていくことを内部質保証委員会に提案し検討していく。（昨年度と変化なし）
⑥ 評価の視点（3）	教育課程の自己点検の際に外部の視点での評価を取り入れることは、以前住空間デザイン学類で実施したことがあるが、定期的なものとはなっていない。学群として方法を確立させる。（昨年度と変化なし）
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	

根拠資料名

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを定め、大学のホームページに公表し周知している。 また、それぞれのポリシーの内容については、「教育指針に関する検討委員会」において定期的に確認を行い、必要に応じて修正を図っている。 (2) アセスメント・ポリシーに従って、適切に評価している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「教育研究上の目的・方針 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー/アセスメント・ポリシー」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び	A

			単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学習成果の達成につながるように、カリキュラム・ポリシーに従って適切な教育課程を編成・実施している。各授業科目の位置づけや到達目標については、カリキュラムツリーとカリキュラムマップで明確化している。カリキュラムマップの内容は、各科目のシラバスに学修指針として記載されている。授業科目の年次・学期配当は、カリキュラム表として明示している。学生の学習時間を考慮し、1 学年において履修できる単位数は 46 単位以下と定めている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「カリキュラム・ポリシー/カリキュラムツリー/カリキュラムマップ/カリキュラム」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-tree_healthy.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_01.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_02.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/healthy/curriculum.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	I C T を利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	B
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。
(1) 授業形態や授業方法は、カリキュラム・ポリシーに基づいている。また、その内容が栄養士法施行規則に定める管理栄養士養成施設としての要件を満たしていることを、毎年自己点検している。さらに、カリキュラム・ポリシーの記載に従って、2年終了時および4年終了時に「学修到達度確認表」を用いて期待された効果が得られていることを確認している。 (2) 遠隔授業は、補講の場合に限り半期の授業中に2回まで認められている。現状では、補講の場合であっても対面授業を優先しており、遠隔授業を行う頻度は極めて少ない。そのため、組織として方針を定めたり、その効果を検証したりはしていない。本学科においては、対面授業よりも遠隔授業の方が教育効果の大きい授業科目があるとは考えていない。そのため今後も可能な限り対面授業を行うように努める。 (3) 各科目のシラバスには、必要十分な情報が記載されている。授業内課題のフィードバックの方法についても記載されている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
「カリキュラム・ポリシー」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 「健康栄養学科学習到達度確認表」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html?id=fh 【管理栄養士養成施設 指定基準に係る自己点検表（学校：大学用）】（2025年度）

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	—
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 成績評価や単位認定については、アセスメント・ポリシーに従って校正・公平に実施している。 (2) 成績評価や単位認定の基準や手続については、ホームページやシラバスへの記載ならびに履修ガイド（冊子）への記載によって学生に明示している。 (3) 本学入学前に他大学等で取得した単位や能力を認定する制度や規則は存在しないため、行っていない。 (4) (5) ディプロマ・ポリシー、学則および学位規程に従って、学内の所定の手続きにより適切に学位を授与している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html
「試験」「成績評価」履修ガイド 2025 12～20 ページ
各授業科目のシラバス
駒沢女子大学 学則 第 32～34 条 駒沢女子大学 学位規程

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学習成果の把握や評価を行うための基本的な考え方は、アセスメント・ポリシーとして明確に掲げている。 (2) 上記(1)の内容は、ディプロマ・ポリシーに準拠して規定されている。 (3) 2 および 4 年次終了時にクラス担任の教員が、学修到達度確認表を用いて学修到達度の確認を行っている。この報告書では学修到達度の確認に留まらず、「今後の課題」や「課題・問題点に対する改善策」についても記載して、学科教員で共有するシステムとなっている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー/カリキュラムマップ」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_01.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_02.pdf				
学修到達度確認報告書				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A

	向上に向けて取り組んでいるか。	(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	A
		(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	B
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「駒沢女子大学内部質保証の方針、基本的な考え方及びシステムの体制」の中で明確にしている。 (2) 学修到達度確認報告書や、管理栄養士国家試験の全国統一模試の結果、管理栄養士国家試験の合格率、フードスペシャリストや専門フードスペシャリスト資格試験の合格率などの適切な情報に基づいている。 (3) 学外の臨地実習先の指導者（管理栄養士）や卒業生に、学生の教育内容及び方法に関して意見を求める機会を設けている。今後さらに自己点検・評価の客観性を高められるよう、そのような機会を増やしたい。 (4) 学科会を中心として、各授業科目の開講年次を変更するカリキュラム改正案を作成中であり、2027 年度からの運用を目指している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「内部質保証の方針、基本的な考え方およびシステムの体制（大学）」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html				
2025 年度第 6～11 回学科会議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2022 年度カリキュラムに改正して初めての 4 年生を輩出する年である。このカリキュラムは、指定規則の改正を受けた上で本学の地域性、特徴を考慮して編成したものである。看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに則り、さらに本学の建学の精神や教育目的に沿って教育目的を明確にしている。AD、CP、DP を設定し、2 年次、4 年次の学修到達度確認表を用いた学習成果の確認を行っている。また、看護実践者を育成するという目的に合わせ、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインの臨地実習における技術項目と到達度を随時確認し、実践力としての知識、技能を確認している。 (2) (1) の学修到達度確認表と、看護教育の技術項目と到達度、4 年間の成績を指標として学習成果を評価し、学位授与にふさわしいか否かを適切に判断している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
看護学部履修ガイド 2022～2024 p.1～10 履修ガイド 2025 p.90～101 駒沢女子大学ガイドブック 2025 p.61～66				
ホームページ教育研究上の目的・方針 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html ホームページ看護学部 https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/nursing.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・ 授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・ 各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到	A

			達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 看護学部教育目的は「人間性豊かな質の高い看護実践能力を備えた看護実践者を育成する」ことである。そこで、科目区分を「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3つに分類している。教養教育科目は、豊かな人間性、幅広く深い教養、高い倫理観、社会性、コミュニケーション力を身につけることができる科目を1・2年次に配当している。また、専門基礎科目は、医療に関連する基礎的知識を修得できる科目を1・2年次に配当している。専門科目は、看護実践に必要な知識・技術を修得できる科目を1年次から4年次にかけて科目を配当している。学年進行に即して、①具体的から抽象的へ、②単純から複雑へ、③優しいものから難しい内容へ、④全体的概要から部分へと深められるようにしている。この過程は、カリキュラムツリーおよび各科目のカリキュラムマップにより可視化している。このように、教育課程を体系的に編成している。 (2) (1)の学修成果を評価する視点として、大学レベル・教育課程レベル・授業科目レベルのアセスメントポリシーを明確にしている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
看護学部履修ガイド 2022～2024 p.1～10、p.36～39 履修ガイド 2025 p.90～101 駒沢女子大学ガイドブック 2025 p.61～66				
ホームページ教育研究上の目的・方針 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html ホームページ看護学部 https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/nursing.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	A

		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学修内容の質を担保し最も効果的に行えるように、履修すべき学年に授業科目を配当している。科目によっては履修のための前提条件を設けることで科目の理解を深められる工夫をしている。各科目のシラバスには到達目標・評価基準と方法、各授業の方法や事前・事後学習課題を明記しており、学生が主体的に学ぶことを支援している。シラバスに示した評価方法・評価基準に従い科目担当教員が成績を評価している。殆どの学生が到達目標に到達している。3年次配当科目の履修のためには、2年次までの必修科目の単位を修得している必要があるとしている。2年次必修科目の単位が未修得のため、3年次配当科目を履修できない学生が数名存在している。 (2) コロナ感染症の5類移行の2023年度以降はほとんどが対面授業である。しかし、遠隔授業のツールとして活用してきたMLSを引き続き積極的に活用し、課題の提出、グループ学習の場、資料掲出の場として有効活用している。ICTの利用は、電子教科書を導入し4年目となり、学生が個人のデバイスを用いて、教科書の事例検討や必要な知識をタイムリーに確認する等、効果的に活用している。また、臨地実習前の履修科目において、患者の健康障害の特徴に合わせた看護を考えるために、教育用電子カルテの導入や高機能モデル人形を用いたシミュレーション教育を展開しており、よりリアリティのある演習を実施している。 (3) 必修英語については、事前に英語クラス分けテストを実施し、学力レベルに応じた授業を行っている。自己学習時間が確保できるように1単位の時間数を検討し、特に演習科目は、各科目の課題を学生が効果的に進められるように、科目間で課題提出時期等の調整を行っている。さらに、学生の学力を鑑み、科目間の調整会議を実施し、学生の理解促進のための情報共有を行っている。1年次から4年次まで段階的に配当している臨地実習は、単純から複雑へと学生の理解度・到達度の確認をしつつ、各看護領域の実習要項に沿って段階的に展開している。また、実習途中や実習最終日には実習評価面接を行い、達成状況の確認及び今後の課題について学生と共有し、個々の課題を達成できるようにしている。また、身体的状況により、配慮が必要な学生の実習においては、事前に個別面談を行い、支援の具体的な状況を相談したうえで、実習指導を行っている。履修状況、学修の理解度・達成度等に関する指導は、少人数での学年アドバイザー教員を担任として配置し有意義な学生生活や学修ができるように、科目担当者と連携し指導助言を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
看護学部履修ガイド 2022～2024 p.1～10、p.36～39 履修ガイド 2025 p.90～101 駒沢女子大学ガイドブック 2025 p.61～66 KOMAJO ポータルからアクセスできる全科目のシラバス				
看護学部看護学科科目一覧 https://www.komajo.ac.jp/uni/kouhyou/pdf/2_2/2-2subject_n_01.pdf				

看護学部看護学科カリキュラム <https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/curriculum.html>

看護学部看護学科カリキュラムツリー https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-tree_nursing.pdf

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	A
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 看護学部の教育目的に則り、各科目の到達目標の達成状況を評価するために、教員ガイド（授業・試験・成績評価）に基づき、客観的かつ厳格で、公正、公正に定期試験（試験・レポート・課題）を行っている。3年次配当科目履修のためには、2年次までの必修科目の履修が必須となっているため、看護学部臨時教授会にて3年次配当科目を可能な学生判定を行っている。 (2) 看護学部履修ガイドに、成績評価及び単位認定に係る基準・手続き（成績評価に関する質問票について）を詳細に記載し、年度初めのオリエンテーションにおいて、学年ごとに具体的に説明を行っている。不服申立てへの対応は、教務課を通じて適切に行っている。 (3) 学生から申請があった場合には、基準に則り適切に行う予定であるが、現時点では該当する入学生はいないため実施していない。 (4) 看護学部のCPで定められた評価方法及び学修到達度確認表を用い、DPに掲げる能力が達成されているか検討している。そして、卒業に要する所定の単位を修得しているかを教授会にて審議し、卒業判定を行っている。 (5) 学位授与方針に即して、卒業要件を満たしている学生に対して、学位を授与している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
教員ガイド（授業・試験・成績評価） 学生生活ガイド 2022～2025 看護学部履修ガイド 2022～2024 P1～9、大学4年間の履修内容と流れ P13～34、 履修ガイド 2025 2026年3月5日看護学部教授会議事録（卒業判定）、2025年3月12日看護学部臨時教授会議事録（3年次配当科目を可能な学生判定）				

点検・評価項目	評価の視点	自己評価
---------	-------	------

⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 各科目のシラバスに評価の基準と方法を明記している。さらに授業のための事前・事後学習や、授業に臨む心構えを明記している。 (2) 各科目のシラバスに、当該科目がディプロマポリシーならびに学修指針のどこに該当するかを記号で示しており、学位授与方針に定めた学習内容・学習成果であることを示している。 (3) 各科目では診断的評価、形成的評価、総括的評価等を適宜用いて把握評価している。評価基準（ルーブリック）を事前に共有することで、教員と学生の双方での目標を明確化し、客観的で公平な評価を実施している。履修終了後には学生による授業評価アンケートを実施し、改善策を検討しながらよりよい授業の実施につなげている。本学部では、改善計画が必要な授業はなかった。大学全体で実施しているアンケートの他に、各授業でフィードバックペーパー、リアクションペーパーにより学生の理解とともに、授業への意見なども求めており、よりよい授業のための資料として活用している。また、看護学科学修到達度確認表による学生の自己評価等も活用し、学位授与方針の見直しを行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
Komajo ポータルサイトからアクセスできる各科目のシラバス Komajo ポータルサイトで公開している各科目の授業評価アンケートの対する点検・評価・改善コメント 看護学部履修ガイド 2022～2024 p.1～10 履修ガイド 2025 履修ガイド 2025 p.90～101 2025 年度看護師教育の技術項目と卒業時の到達度 4 年生結果				
看護学部看護学科カリキュラムマップ chrome-extension://efaidnbmninnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_nursing_02.pdf				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A
		(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	A
		(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	A

		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 大学の点検・評価・改善委員会を中心に、授業評価アンケートの回答、回答に対するフィードバックを周期的に実施している。学生のアンケートにより授業の改善を行っている。また、学内で年に2回授業公開期間を設けている。教員同士で授業の方法等についてコメントをし合うことで、さらにより授業の改善をめざしている。看護学部においては、「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を用いて演習及び実習における学生の経験の実際を確認し、必要な技術項目が網羅できるよう科目間での調整を行っている。 (2) 2年終了時、4年の卒業前に「学修到達度評価」を行い、その変化を分析し、教育課程およびその内容、教育方法について点検している。2年次終了時の必修科目の履修状況を確認し、単位未修得者の数等から教育方法の改善を検討している。また、2025年度の看護師国家試験合格率 98.5 %（新卒者：98.4%、既卒者 100%）、保健師国家試験合格率 100%、業種別就職状況（看護師での就職 95.2%、保健師での就職 0 %、進学 4.8%）から、学生たちの弱点を分析し、各科目の次年度の教育内容や方法、学生指導に反映させている。 看護学部独自のホームカミングデーでは、卒業生からの近況や在学中の評価についてインフォーマルに話を聞き、それらの情報から教育内容・教育方法を再考している。 (3) 学生の意見を授業に取り入れられるように、講義毎のリアクションペーパーや授業評価アンケートを活用している。また、学内での授業公開も授業の質を高めるために寄与しており、公開授業のコメントシートは、客観性のある授業評価として活用している。点検・評価・改善委員会の主催する学内のFDでは、工夫された授業について取り上げ、各教員の自己研鑽に役立っている。外部の視点として、一般財団法人 日本看護学教育評価機構が実施している看護学分野別評価があり、入会予定であり今後は受審を計画していく。 (4) (1) ～ (3) の自己点検・評価の結果を踏まえ、次年度の教育に反映できるように取り組んでいる。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
点検・評価・改善委員会議事録 公開授業案内、公開授業出欠表、公開授業コメントシート 学修到達度評価 各科目の授業アンケート結果、アンケート結果に対する点検・評価・改善コメント 2025年度看護師教育の技術項目と卒業時の到達度4年生結果 大学案内 p.62 国家試験合格率 p.66 就職先 進路支援委員会作成就職状況資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
③－（１）	履修すべき学年に授業科目を配当し、科目によっては履修のための前提条件を設けることで科目の理解を深められる工夫をしている。３年次配当科目の履修のためには、２年次までの必修科目の単位を修得している必要があるとしている。このカリキュラム適用学生の「学修到達度評価」が例年より高くなっており、学修効果が高まった。
⑤－（３）	評価基準（ルーブリック）を事前に共有することで、教員と学生の双方での目標を明確化し、客観的で公平な評価を実施している。学生による授業評価アンケートにより、改善策を検討しながらよりよい授業の実施につなげている。大学全体で実施しているアンケートの他に、各授業でフィードバックペーパー、リアクションペーパーにより学生の理解とともに、授業への意見なども求めており、よりよい授業のための資料として活用している。看護学科学修到達度確認表による学生の自己評価等も活用し、学位授与方針の見直しを行っている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
2025 年度看護師教育の技術項目と卒業時の到達度 4 年生結果 2023 年度看護学科 2 年終了時及び 2025 年度 4 年終了時「学修到達度の確認」の報告書 授業評価アンケートの検証（結果総括）	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥－（３）	JABNE 一般財団法人 日本看護学教育評価機構の入会を決定したものの、受審に至っていない。
③－（１）	長所・特色で挙げた項目であるが、教育効果が表れている学生が多数いる一方で、２年次必修科目の単位が未修得のため、３年次配当科目を履修できない学生が数名存在している。学生間の学力格差が大きいことに対する対応が今後の課題である。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策

⑥－(3)	2026 年度入会予定である。入会後に会員として得られる情報を確認しつつ、 受審に向けた準備を開始する。
③－(1)	入学時の学力を確認しながら、学習習慣、大学の学修方法に慣れていくよう な支援を行うことと、形成評価を中心にしていくなどにより改善していく。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を 記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、 「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」か ら選択してください。	自己評価
	A

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
国際日本学科 60 名定員のところ、2026 年 3 月 27 日現在の入学予定者は 31 名となり、昨年の 21 名よりは改善されたが、依然として厳しい状況が続いている。改善されたポイントとして、外国人留学生の動きが寄与しており、次年度に向けても、外国人留学生入学者を維持していく動きは継続していく。その為にも積極的に留学生へのアプローチはおこない、より適性な留学生受入れの為の、指定校推薦制度なども活用していく。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。 〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
人間関係学科の入学定員が 60 名のところ、2026 年 3 月 27 日現在で 55 名入学予定となっている。昨年が 39 名の入学であったため、定員未達であるが大幅改善された。改善の要因は外国人留学生の入学予定が増えた点になり、2027 年度入学選抜においても、この流れを継続し定員充足の動きに繋げていく。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。 〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
心理学科の入学定員が 80 名のところ、2026 年 3 月 27 日現在で 52 名入学予定となっている。 昨年が 61 名の入学であったため、さらに下げる結果となった。2027 年度入学者選抜においては、外国人留学生の受け入れと、通信制高等学校への情報発信も継続的にいき、定員確保に努めていく。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけではなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

--

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
観光文化学科の入学定員は 60 名であるが、2026 年 3 月 27 日現在で 67 名入学予定となっている。昨年が 46 名であったので、おおきく改善されている。要因としては、留学生の受入れ数のバランスを保ちながら、日本人学生の受け入れを微増させた事、また昨今日本への観光客が増えている状況等の追い風と考えられる。この流れを継続しつつ、実習設備の拡充や、学科独自のイベントも今後展開予定であり、外に向けての新たな発信を武器に継続して定員確保に努めていく。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学学生選抜の入学学生数や退学生数を確認し、問題がある場合には、次年度入学学生選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔 根拠資料 〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	S

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。 〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

--

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
空間デザイン学科の入学定員は70名であるが、2026年3月27日現在で55名入学予定となっている。昨年より空間デザイン学部空間デザイン学科としてスタートし、昨年度は87名の入学があった。学部化して受験生へ情報が伝わりやすい印象であったが、注目度が薄れ悪い予想の通りとなってしまった。本学園の中でも理系科目の要素を多く含むこの学科は、期中よりその意識を強く情報提供する動きや、学科独自のイベントも多くおこなうことで、イベント参加者の理解を得られ、出願率が高い結果も得ることが出来た。この動きを継続することで、より国家資格取得者の数を増やす結果も期待が出来、学科としての特徴を明確にすることで、今後定員確保の安定に努める。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026年3月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

--

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
健康栄養学科の入学定員は 80 名であるが、2026 年 3 月 27 日現在で 50 名入学予定となっている。 前年は 41 名の入学であった為、若干の改善は見られた。改善した理由として考えられることは、学科単独のイベントを前年より多く実施した事や、指定校推薦の見直しを行った事が結果につながったと考えられる。また国家資格取得率の向上を目標に掲げていることより、学力だけではなく面接も重視した結果、一般選抜での選考が昨年より厳しい結果になった。内容の改善がみられる中、よりふさわしい学生獲得の動きを継続し、定員確保の安定に努める。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2025 年度（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように（方法・指標）」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2)大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3)毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4)5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5)入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけではなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2026/入試委員会議事録				
2026 入学者選抜ガイド/2026 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://w.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

--

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
看護学科の入学定員は 80 名であるが、2026 年 3 月 27 日現在で 76 名入学予定となっている。前年は 71 名の入学であった為、若干の改善は見られた。2027 年度入学者に向けての動きとしては、比較的年明けにも動きのある看護志望者は継続しておさえつつ、全体的に早期進路確定の動きに合わせ、11 月のみならず 12 月にも総合型選抜入試を増やし、定員確保に努める。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
2026 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

評 価 者

基準 4	:	共創文化学部	学部長	富士原 光洋
基準 4	:	観光文化学部	学部長	張 景泰
基準 4	:	空間デザイン学部	学部長	三戸 美代子
基準 4	:	人間総合学群	学群長	三田 誠司
基準 4	:	人間健康学部	学部長	三浦 麻子
基準 4	:	看護学部	学部長	小林 優子
基準 5	:	入試センター	所長代行	柳川 賢治

2025 年度 駒沢女子大学

「自己点検・評価シート」

第 4 期（評価対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月）

基準 4 「教育・学習」、基準 5 「学生の受け入れ」

2026 年 3 月 31 日

内部質保証委員会